

Citation: Esposito M, Grusovin MG, Achille H, Coulthard P, Worthington HV. Interventions for replacing missing teeth: different times for loading dental implants. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2009, Issue 1. Art. No.: CD003878. DOI: 10.1002/14651858.CD003878.pub4

CRG名: Oral Health

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 31 October 2008.

Clib issue No.; N/U: 2009 issue 1; Updated

背景: インプラント失敗のリスクを最小限にするために、従来より、オッセオインテグレートインプラントは、治癒期間には荷重をかけないことになっている。治癒期間は可撤式義歯を使うが、多くの患者は、これらの義歯を不快に思う。もしインプラントの成功を妨げることなく治癒期間を短縮化できるなら、それは恩恵と呼べるだろう。現在、即時ないし早期荷重インプラントは、主に、下顎で骨質良好なケースにて、応用されている。即時ないし早期荷重インプラントと従来型荷重(待時荷重)のインプラントとを比較して、成功率に違いがあるかどうかを知ることは、有益である。

目的: (1)オッセオインテグレートインプラントの即時(1週以内)、早期(1週間から2か月)、待時(2か月以上)荷重の有効性、(2) 骨の治癒期間の即時咬合と咬合荷重なしとの有効性を評価する。

検索戦略: 本レビューでは、Cochrane Oral Health Group's Trials Register、Cochrane Central Register of Controlled Trials (CENTRAL)、MEDLINE、EMBASEを検索した。いくつかの歯科雑誌のハンドサーチを含めた。未公開のランダム化比較試験(RCTs)を求め、確認された試験の著者全員と、インターネットのディスカッショングループや55の歯科インプラント製造業者と接触した。最後に検索を実行したのは2008年の6月4日のことだった。

選択基準: 4ヶ月から1年の追跡をしていて、同じタイプのインプラントの即時、早期、待時荷重の比較をしている、あるいは咬合荷重の有無を比較している、歯根形態のオッセオインテグレートインプラントについての、全てのランダム化比較試験を選んだ。アウトカムの評価: 補綴物の失敗、インプラントの失敗、口腔内レントゲン写真による辺縁の骨の高さ。

データ収集と分析: データは、2人のレビューアが独立に、2回抽出した。レビューアは、ランダム化と中止の詳細にあたり、品質評価を行った。コクラン共同計画の統計学的ガイドラインに従った。

主な結果: 30件のRCTが確認され、最終的に全体で1024人の患者を含む22件の試験が選択された。12の試験は即時荷重と待時荷重を比較、3つは早期荷重と待時荷重、6つが即時荷重と早期荷重、1つが咬合荷重の有無を比較していた。インプラント単位ではなく患者単位で調査した3つの試験は、いかなるメタアナリシスも、統計学的に有意な差がなかった。

レビューアの結論: 患者を選ぶことで、インプラントへの即時ないし早期荷重を成功させることは可能であるが、すべての臨床家が至適な結果に達成できるわけではない。オッセオインテグレーション期間に咬合荷重を避けることに恩恵があるかどうかは、明確にはならなかった。傾向としては、インプラントの即時荷重は待時負荷よりも失敗しやすいが、早期荷重よりは良かった。早期にインプラントに荷重をかけたい臨床家は、1ないし2ヶ月待つよりも、即時に(1週以内に)荷重をかける方が、賢明だろう。即時ないし早期荷重計画を成功に導く必要条件の1つは、インプラントの初期固定が良好である(埋入トルク値が高い)ことであろう。より優れたデザインのランダム化比較試験が必要であり、またCONSORT指針(www.consort-statement.org/)に準じて報告されるべきである。

(翻訳 南出 保・監訳 湯浅秀道; JCOHR)

翻訳公開日: 2012年2月7日

ご注意: この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年12回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の

